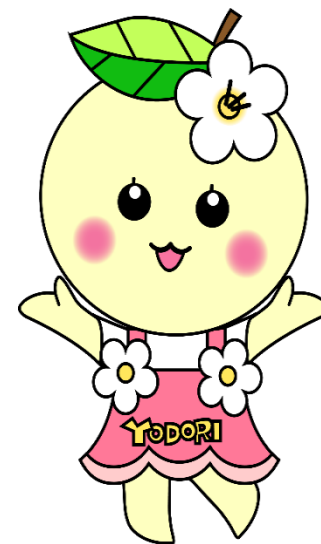


大淀町のまちづくりについて

大 淀 町
平成28年2月22日



位置図



大淀病院跡地及び近鉄下市口駅周辺地区のまちづくり

まちづくりの背景

- 少子高齢化や人口減少、空き店舗の増加、新病院の建設による大淀病院の閉院により、町の中心エリアの衰退、市街地の空洞化等が懸念
- 大淀病院跡地の有効活用や町の玄関口だけでなく、県南部地域との連絡・交流拠点でもある近鉄下市口駅周辺の整備を進め、県南部地域の活性化へと波及されるまちづくりを進めることが重要課題

まちづくりのコンセプト

「医療・福祉・健康」×「コンパクト」

⇒『いきいき元気！』ふれあいのまち

病院跡地という特性を活かし、現在町内に点在する「医療・福祉・健康」の機能集約を図り、住民のコミュニティの場としてこのエリアの魅力を高めるとともに、アクセスなどの都市機能の向上を図る。

○医療・福祉・健康づくりゾーンの形成

- ・大淀病院跡地における「保健センター」など福祉・健康を中心とした公的機関の集約
- ・診療所、訪問看護ステーションなどの民間施設の誘致
- ・吉野川を活かしたやすらぎ空間の整備

○下市口駅周辺の交通機能の強化

- ・交通結節点の整備
(駅前広場の検討、病院跡地へのアクセス等を考慮した駅のあり方の検討)
- ・大淀病院跡地へのアクセス強化
- ・循環型コミュニティバスの再整理

○病院跡地方面へ向けた沿道の賑わい創出

- ・歩きたくなる道路・沿道空間の形成
- ・低未利用地の活用等による賑わいの創出
- ・吉野川の眺望を活かしたにぎわい・交流の拠点づくり

○まちの賑わい創出

- ・地域コミュニティの場や情報発信拠点としての空き家・空き店舗の活用
- ・住環境や歩行者空間整備、定住化の促進

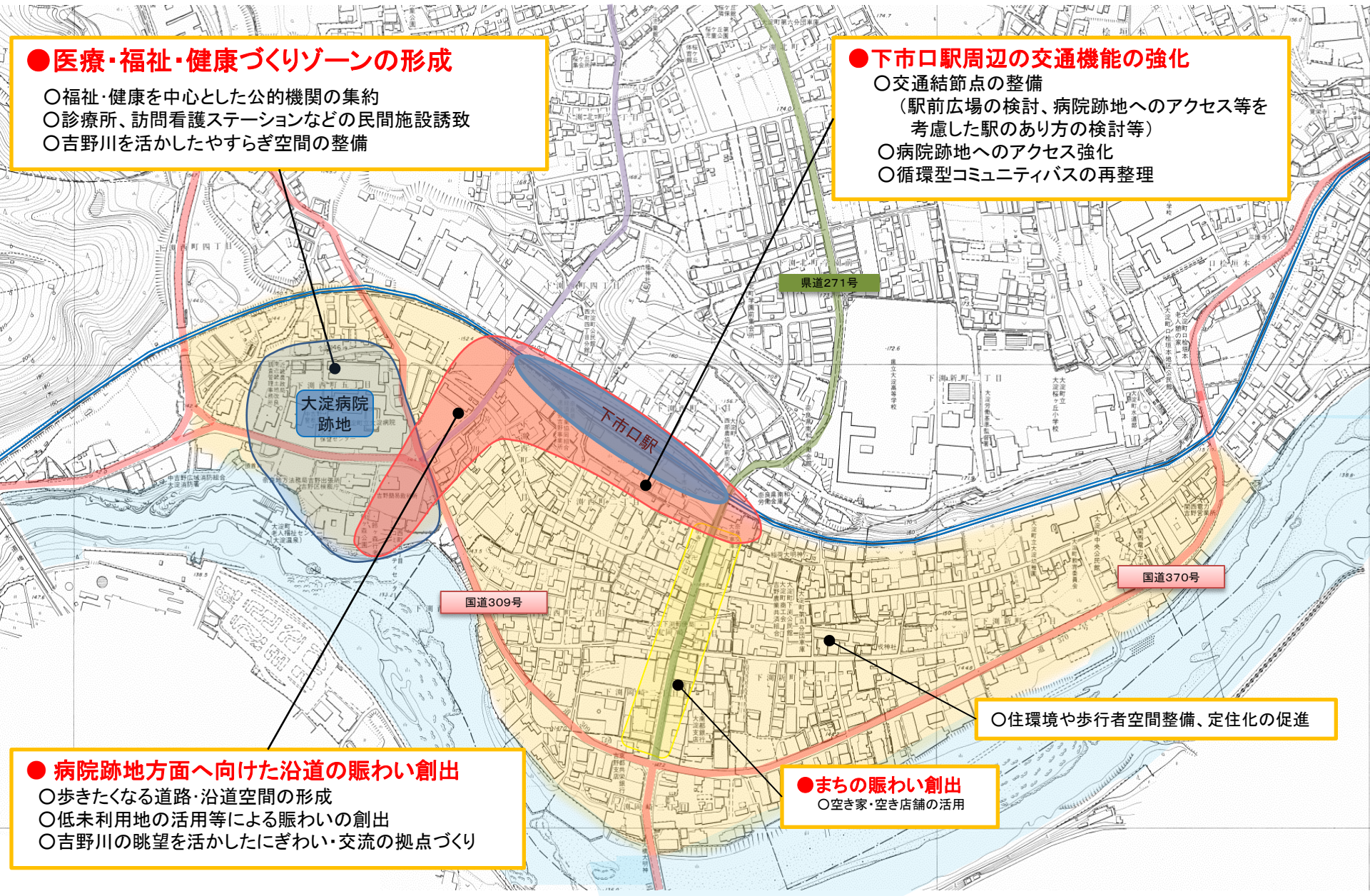
大淀病院跡地及び近鉄下市口駅周辺地区のまちづくりイメージ図(案)

●医療・福祉・健康づくりゾーンの形成

- 福祉・健康を中心とした公的機関の集約
- 診療所、訪問看護ステーションなどの民間施設誘致
- 吉野川を活かしたやすらぎ空間の整備

●下市口駅周辺の交通機能の強化

- 交通結節点の整備
(駅前広場の検討、病院跡地へのアクセス等を考慮した駅のあり方の検討等)
- 病院跡地へのアクセス強化
- 循環型コミュニティバスの再整理



●病院跡地方面へ向けた沿道の賑わい創出

- 歩きたくなる道路・沿道空間の形成
- 低未利用地の活用等による賑わいの創出
- 吉野川の眺望を活かしたにぎわい・交流の拠点づくり

●まちの賑わい創出

- 空き家・空き店舗の活用

○住環境や歩行者空間整備、定住化の促進